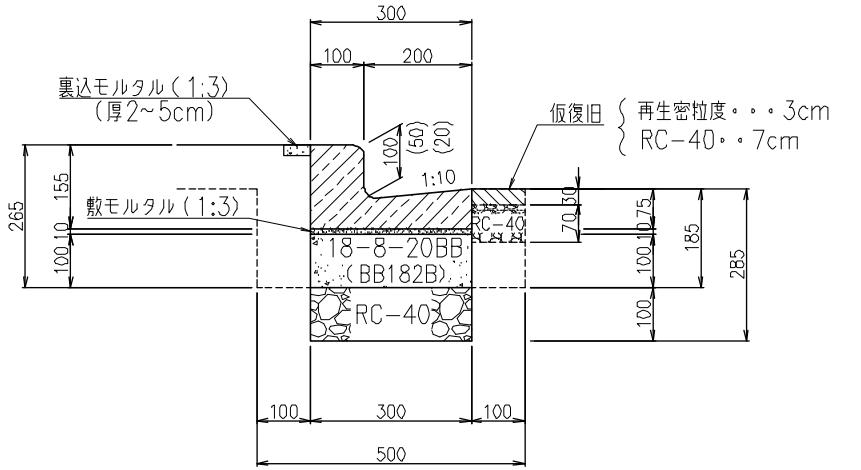
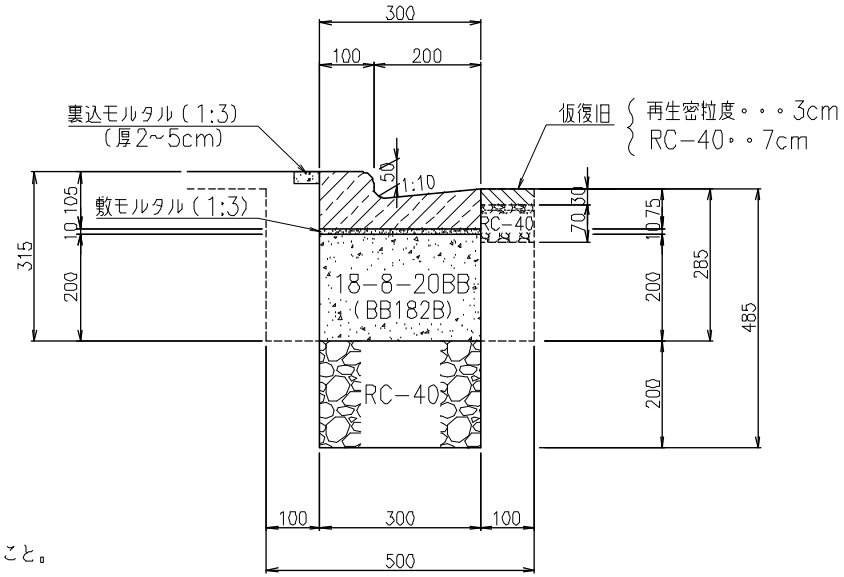
L形側溝工構造図（20L 20L車乗入部） S＝1：10

L形側溝（鉄筋コンクリートL形、20L）



L形側溝（鉄筋コンクリートL形、20L）車乗入部

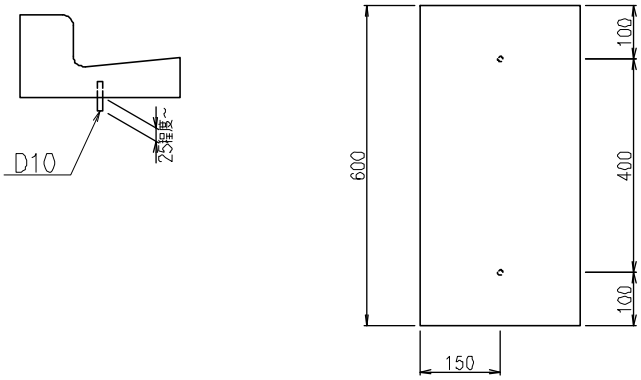


※ 仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。

※ 基礎コンクリート型枠の入らない所は、ビニールシートを使用すること。

L形ブロック（20L、爪付き）

※背面が畑や砂利敷き駐車場など、特に固定が必要なときに使用する。

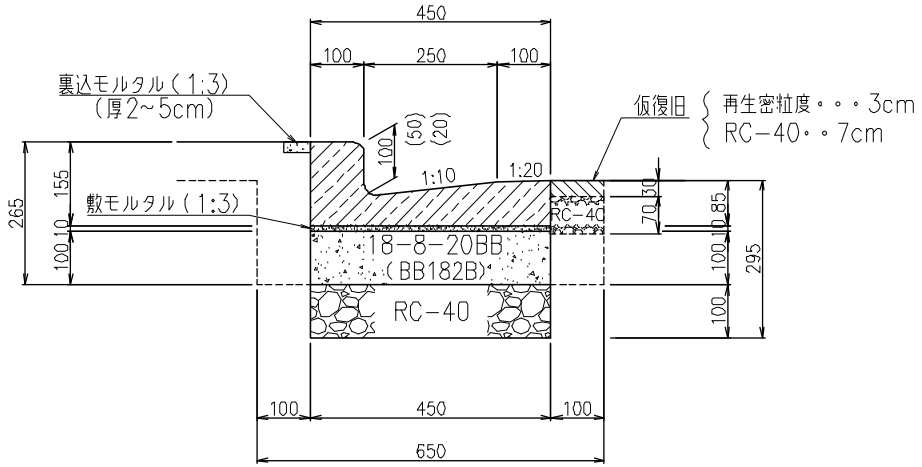


材 料 表 (100m当り)

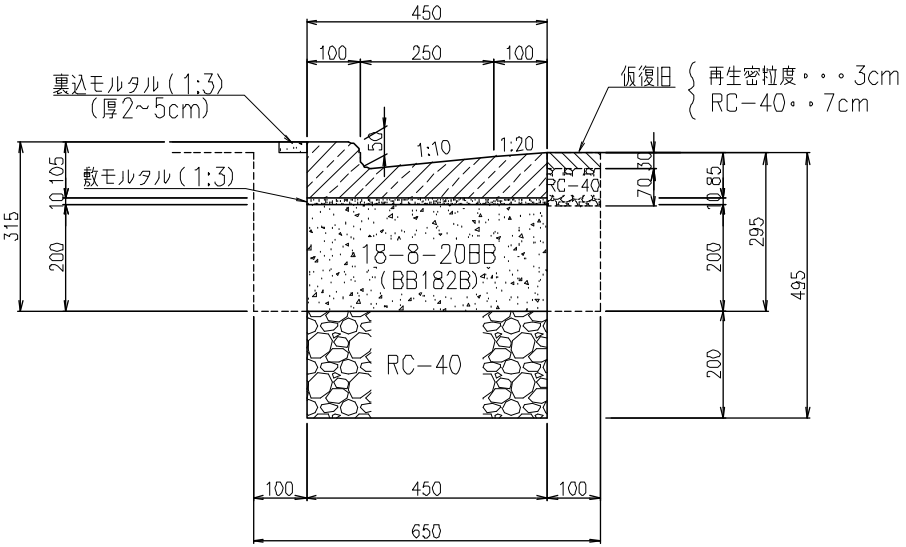
材 料 名	形 状 寸 法	単位	20L	20L車乗入部
再生クラッシャラン	RC-40	m3	3.0	6.0
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m3	3.0	6.0
モルタル 1:3	敷モルタル	m3	0.3	0.3
L形ブロック	20L 総幅300	個	165.0	165.0

L形側溝工構造図（25L 25L車乗入部） S＝1：10

L形側溝（鉄筋コンクリートL形、25L）



L形側溝（鉄筋コンクリートL形、25L）車乗入部

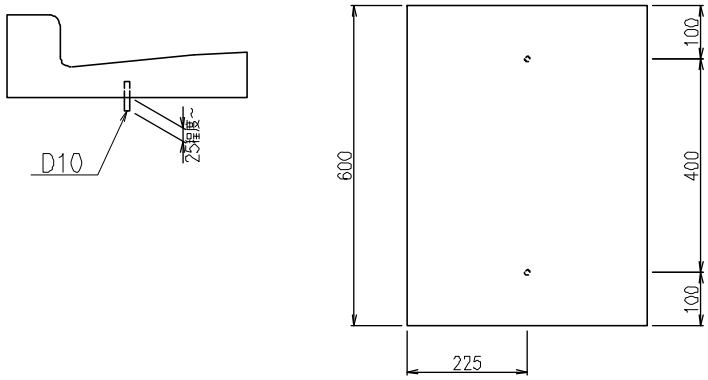


※ 仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。

※ 基礎コンクリート型枠の入らない所は、ビニールシートを使用すること。

L形ブロック（25L、爪付き）

※背面が畑や砂利敷き駐車場など、特に固定が必要なときに使用する。

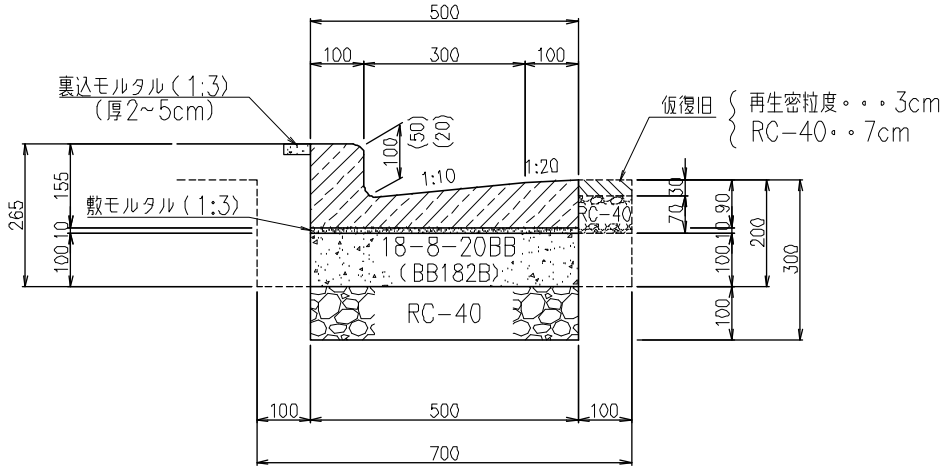


材 料 表 (100m当り)

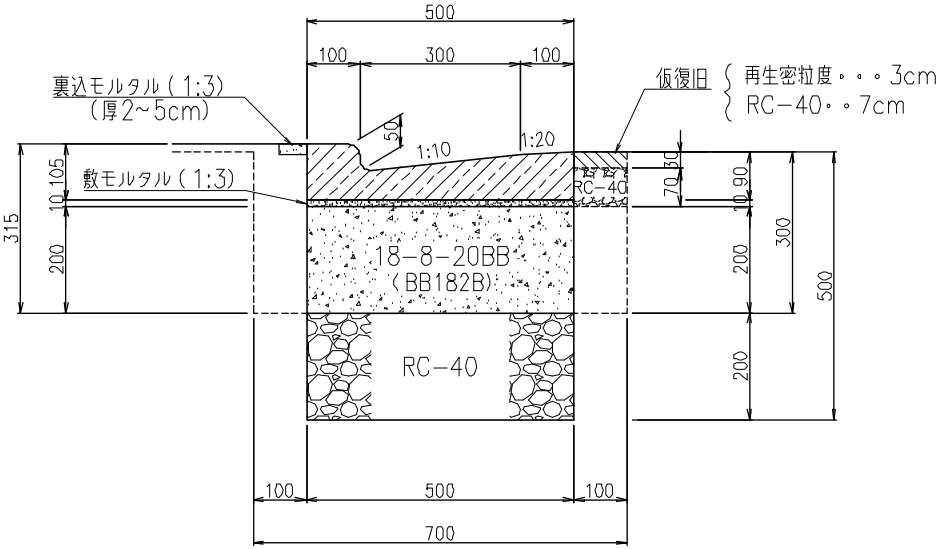
材 料 名	形 状 寸 法	単位	25L	25L車乗入部
再生クラッシャラン	RC-40	m3	4.5	9.0
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m3	4.5	9.0
モルタル 1:3	敷モルタル	m3	0.5	0.5
L形ブロック	250B 総幅450	個	165.0	165.0

L形側溝工構造図（30L 30L車乗入部） S＝1：10

L形側溝（鉄筋コンクリートL形、30L）



L形側溝（鉄筋コンクリートL形、30L）車乗入部

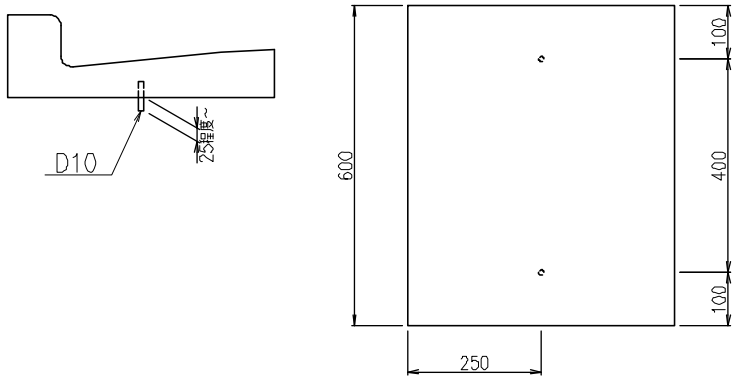


※ 仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。

※ 基礎コンクリート型枠の入らない所は、ビニールシートを使用すること。

L形ブロック（30L、爪付き）

※背面が畑や砂利敷き駐車場など、特に固定が必要なときに使用する。

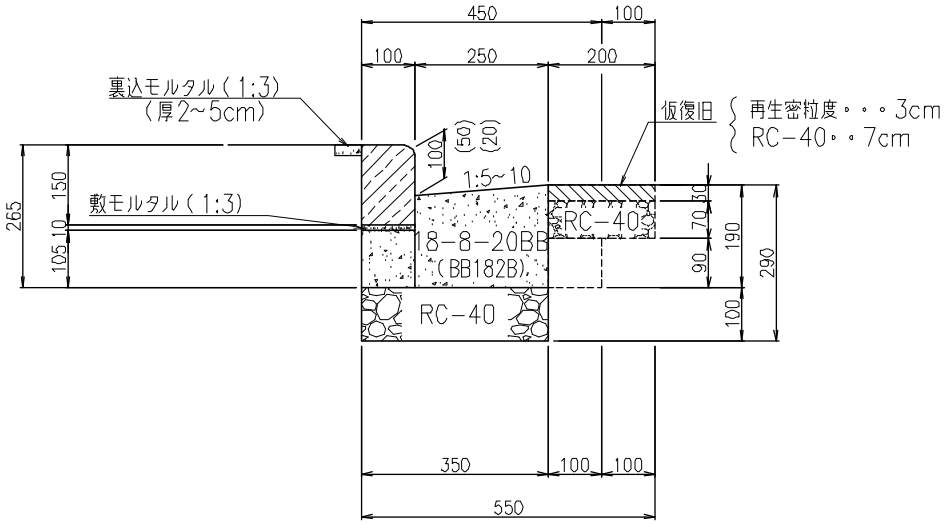


材 料 表 (100m当り)

材 料 名	形 状 寸 法	単位	30L	30L車乗入部
再生クラッシャラン	RC-40	m3	5.0	10.0
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m3	5.0	10.0
モルタル 1:3	敷モルタル	m3	0.5	0.5
L形ブロック	300B 総幅500	個	165.0	165.0

L形側溝工構造図（25L エプロン現場打） S＝1：10

L形側溝（エプロン現場打、25L）



※ 仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。

※ 基礎コンクリート型枠の入らない所は、ビニールシートを使用すること。

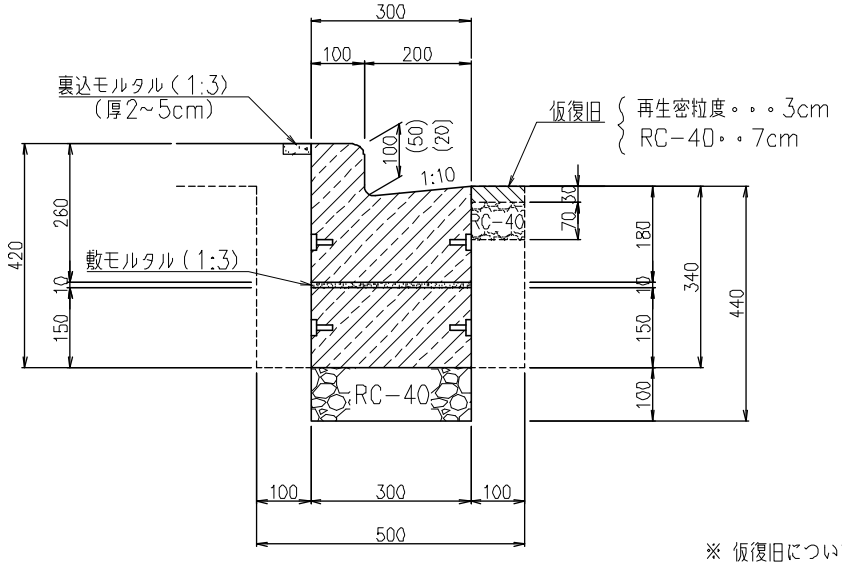
材 料 表　　(100m当り)

材　料　名	形　状　寸　法	単位	25L
再生クラッシャラン	RC-40	m3	3.5
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m3	5.5
モルタル（1：3）	敷モルタル	m3	0.1
歩車道境界ブロック	100×150×600　片面取り	個	165.0

※上記の数量については平均使用量である。

プレキャストL形側溝工構造図（20L） S＝1：10

プレキャストL形側溝（鉄筋コンクリートL形、20L）



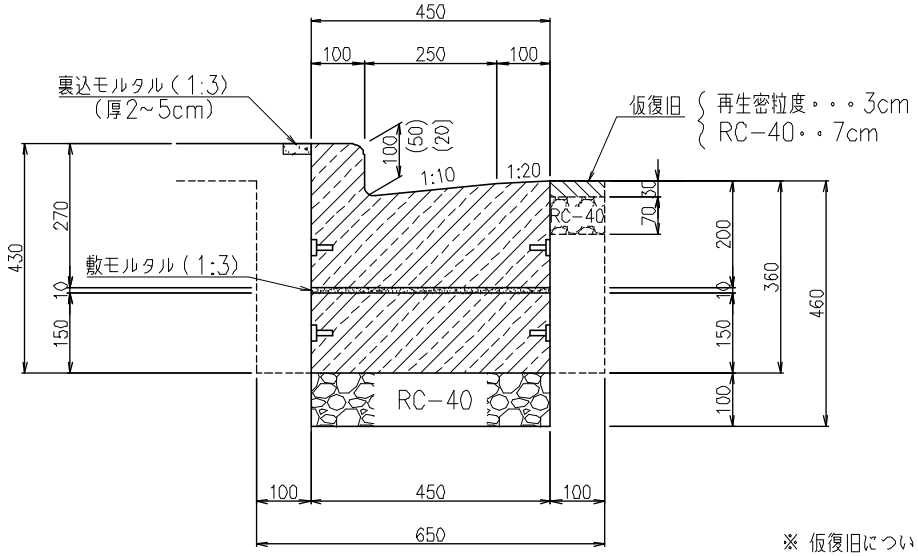
※ 仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。

材 料 表 （100m当り）

材 料 名	形 状 寸 法	単位	20L
再生クラッシャラン	RC-40	m3	3.0
モルタル 1:3	敷モルタル	m3	0.3
プレキャストL形ブロック	20L 総幅300	個	50
プレキャストL形ベース	総幅300	個	50

プレキャストL形側溝工構造図（２５L） S＝1：10

プレキャストL形側溝（鉄筋コンクリートL形、２５L）



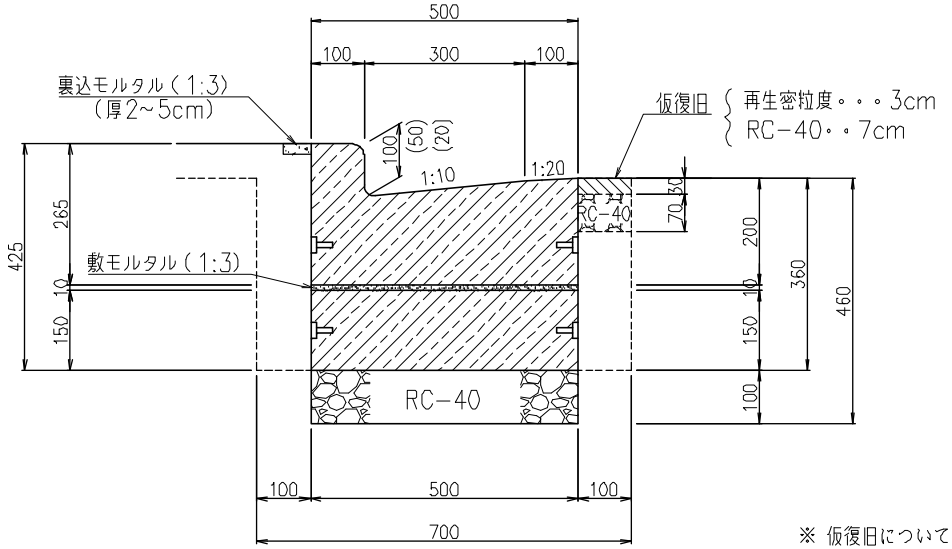
※ 仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。

材 料 表 (100m当り)

材 料 名	形 状 寸 法	単位	25L
再生クラッシャラン	RC-40	m3	4.5
モルタル 1:3	敷モルタル	m3	0.45
プレキャストL形ブロック	25L 総幅450	個	50
プレキャストL形ベース	総幅450	個	50

プレキャストL形側溝工構造図（30L） S＝1：10

プレキャストL形側溝（鉄筋コンクリートL形、30L）

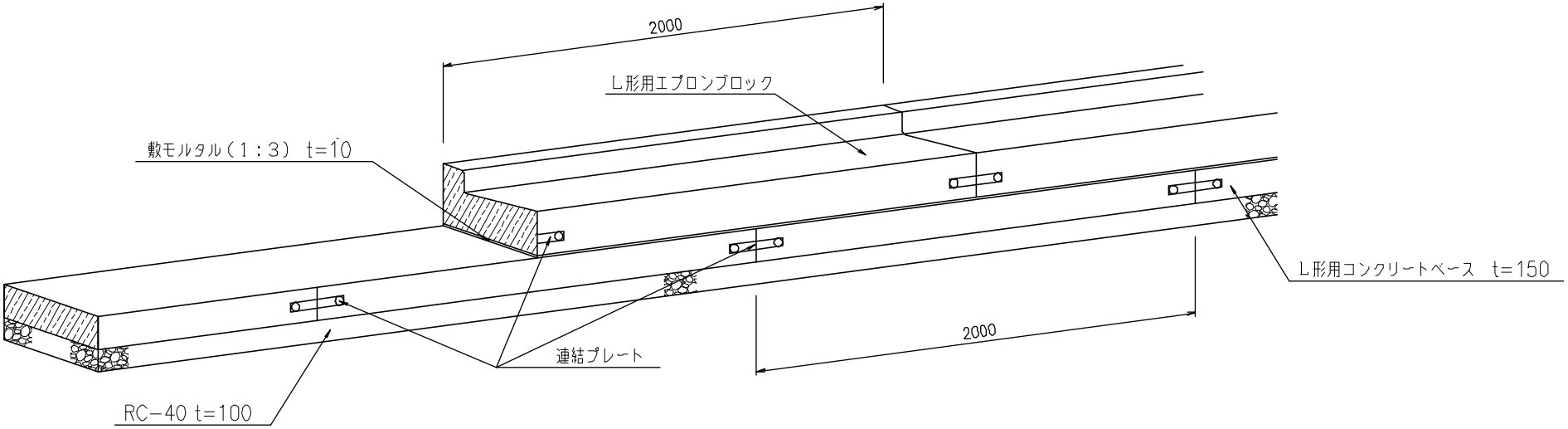


※ 仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。

材 料 表 （100m当り）

材 料 名	形 状 寸 法	単位	30L
再生クラッシャラン	RC-40	m3	5.0
モルタル 1:3	敷モルタル	m3	0.5
プレキャストL形ブロック	30L 総幅500	個	50
プレキャストL形ベース	総幅500	個	50

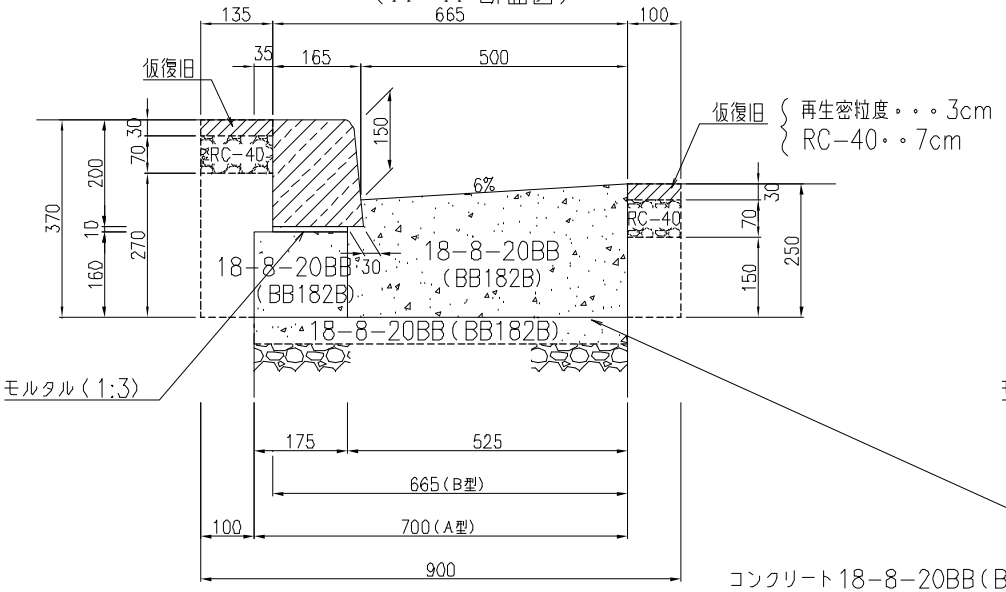
プレキャストL形　敷設図



街きょ構造図（１５５型）　S＝1：10

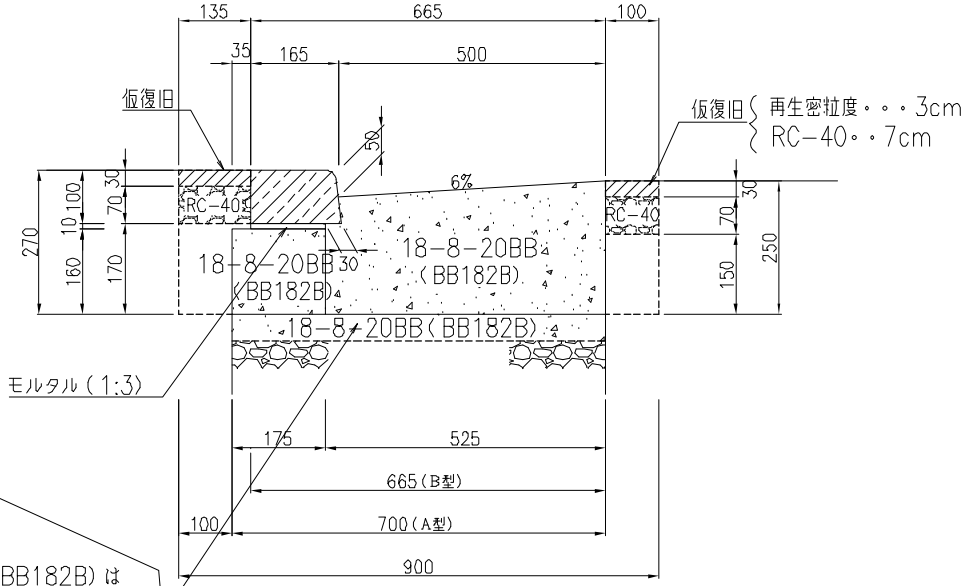
幅500mm　A型　B型（エプロン横断勾配6％）

一般部断面図
（A－A 断面図）



※仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。
※街きょます間の中央に施工目地を設ける。
　ただし、１０m未満の場合は除く。
※各ブロック間には、目地モルタルを設ける。

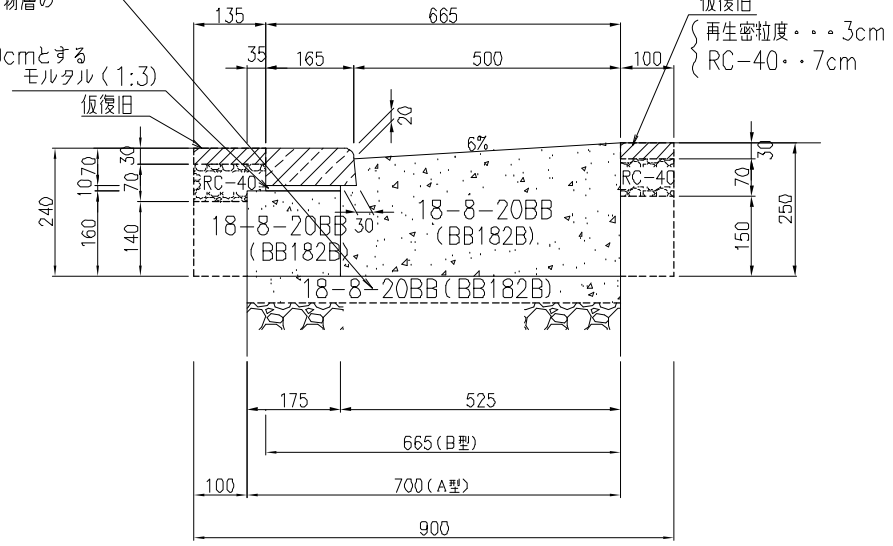
車乗入用切下部（５ｃｍ）断面図



コンクリート18－8－20BB（BB182B）は
調整用として用いる（別途計算）

基礎工は車道路盤に準ずる
また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の
合計厚が25cm以下の場合は
再生クラッシャラン(RC－40)基礎を10cmとする

巻込部・歩行者横断用切下部（２ｃｍ）断面図
（B－B 断面図）



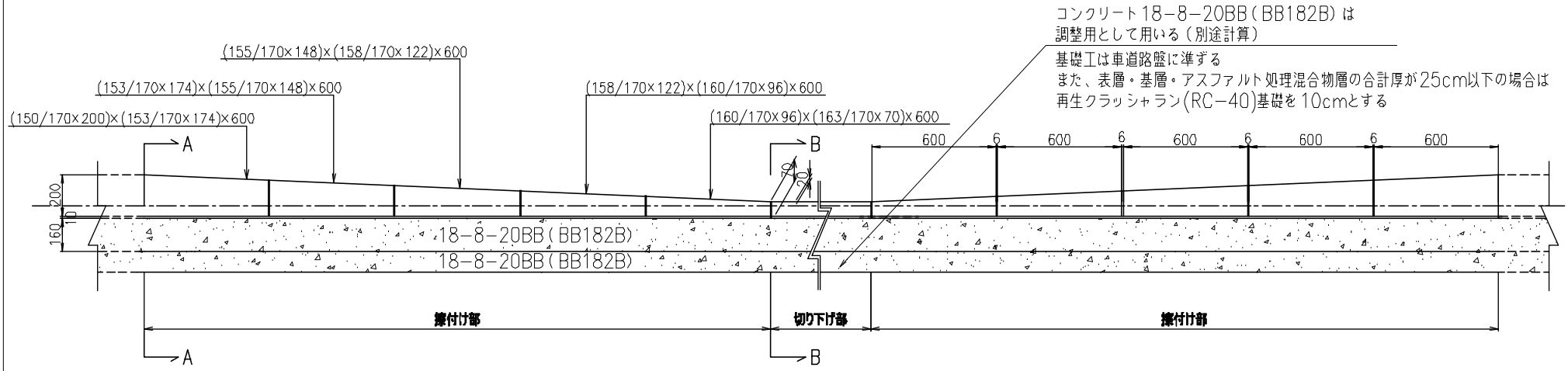
材　料　表　　（100m当り）

材　料　名	形　状　寸　法	単位	一　般　部	車乗入用切下部	巻込部・歩行者横断用切下部
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m3	15.0	15.0	15.0
モルタル 1:3	敷・目地	m3	0.1	0.1	0.1
歩車道境界ブロック	150/170×200×600	個	165.0	－	－
歩車道境界ブロックB1平	160/170×100×600	個	－	165.0	－
歩車道境界ブロック	163/170×70×600	個	－	－	165.0

歩行者横断用切下部・摺付部街きょ構造図（１５５型）

（エプロン横断勾配 6％）

正面図（歩行者横断用・5段落し） S＝1：20



※各ブロック間には、目地モルタルを施すこと。
※A－A、B－B断面はP2301－2参照

材　料　表　　**（両側100箇所当り）**

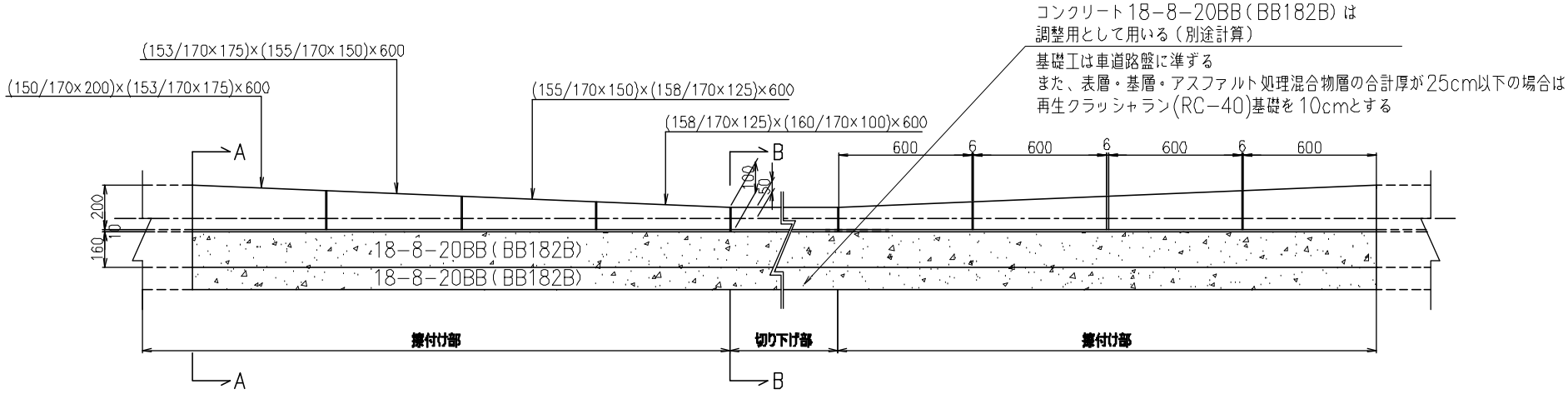
材　料　名	形　状　寸　法	数　量	単位	摘　要
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	90.7	m3	
モルタル 1:3	敷・目地	0.9	m3	
型　枠		345.4	m2	
歩車道境界ブロック	(150/170×200) ×(153/170×174)×600	200	個	
〃	(153/170×174) ×(155/170×148)×600	200	個	
〃	(155/170×148) ×(158/170×122)×600	200	個	
〃	(158/170×122) ×(160/170×96)×600	200	個	
〃	(160/170×96) ×(163/170×70)×600	200	個	

※本材料表は、擦付け部両側の数量である。

車乗入用摺付部街きょ構造図（１５５型）

（エプロン横断勾配 6％）

正面図（車乗入れ用・４段落し） S＝1：20



※各ブロック間には、目地モルタルを施すこと。
※A－A、B－B断面はP2301－2参照

材　料　表　　**（両側100箇所当り）**

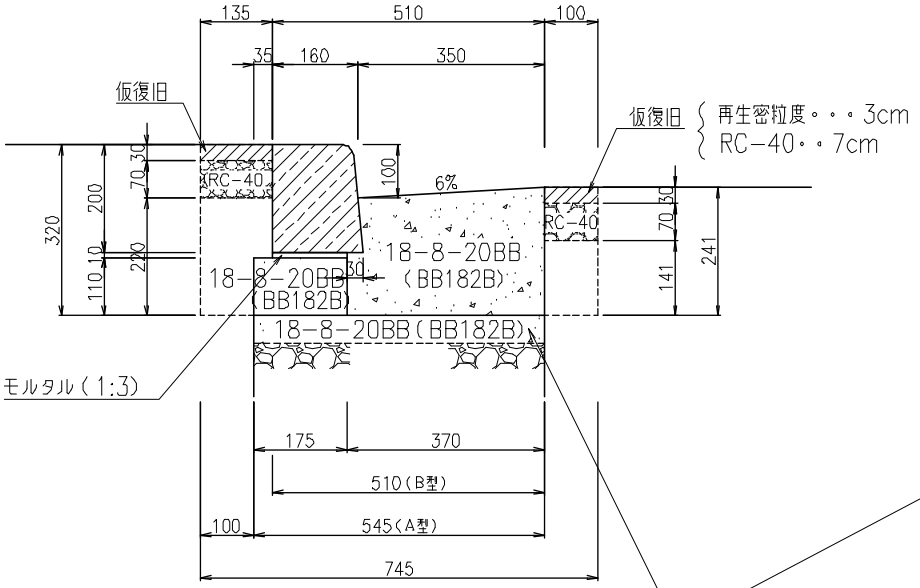
材　料　名	形　状　寸　法	数　量	単位	摘　要
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	90.7	m3	
モルタル 1:3	敷・目地	0.9	m3	
型　　枠		345.4	m2	
歩車道境界ブロック	(150/170×200) ×(153/170×175)×600	200	個	
〃	(153/170×175) ×(155/170×150)×600	200	個	
〃	(155/170×150) ×(158/170×125)×600	200	個	
〃	(158/170×125) ×(160/170×100)×600	200	個	

※本材料表は、擦付け部両側の数量である。

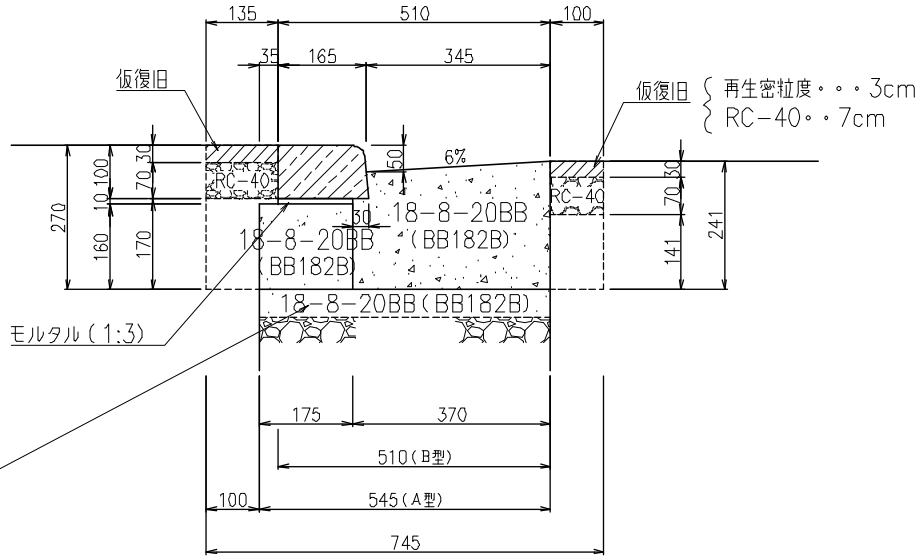
街きょ構造図（１０３５型） Ｓ＝１：１０

幅350mm　A型 B型（エプロン横断勾配６％）

一 般 部 断 面 図
（Ａ－Ａ 断面図）



車乗入用切下部（５ｃｍ）断面図
（Ｂ－Ｂ 断面図）

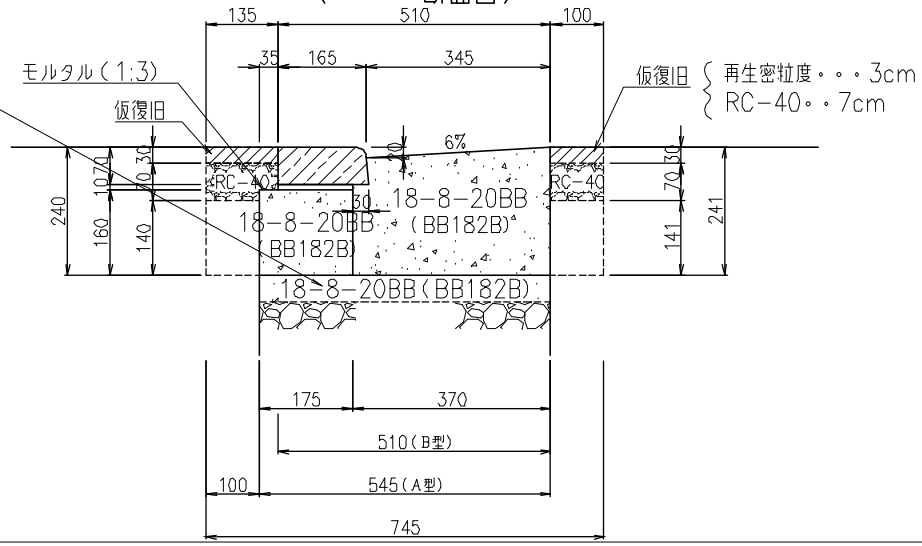


コンクリート18－8－20BB（BB182B）は調整用として用いる（別途計算）

基礎工は車道路盤に準ずる
また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の合計厚が24.1cm以下の場合は
再生クラッシャラン(RC－40)基礎を10cmとする

※仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。
※街きょます間の中央に施工目地を設ける。
　ただし、１０ｍ未満の場合は除く。
※各ブロック間には、目地モルタルを設ける。

巻込部・歩行者横断用切下部（２ｃｍ）断面図
（Ｃ－Ｃ 断面図）



材 料 表

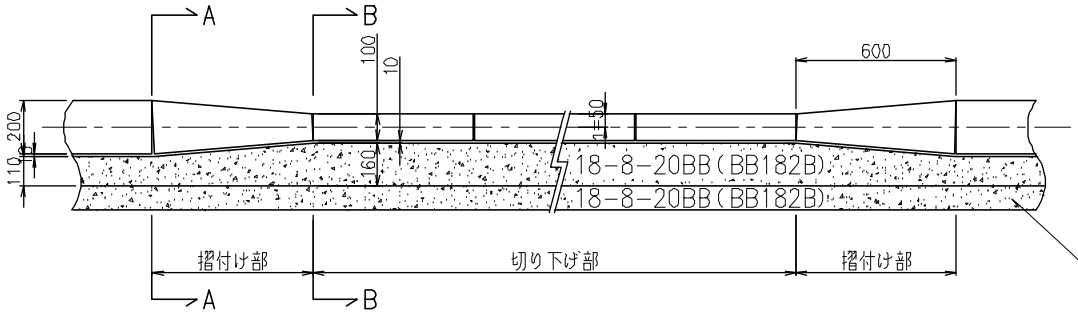
（100m当り）

材　料　名	形　状　寸　法	単位	一 般 部	車乗入用切下部	巻込部・歩行者横断用切下部
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m3	10.2	10.2	10.2
モルタル 1:3	敷・目地	m3	0.1	0.1	0.1
歩車道境界ブロック	150/170×200×600	個	165.0	－	－
歩車道境界ブロックB1	160/170×100×600	個	－	165.0	－
歩車道境界ブロック	163/170×70×600	個	－	－	165.0

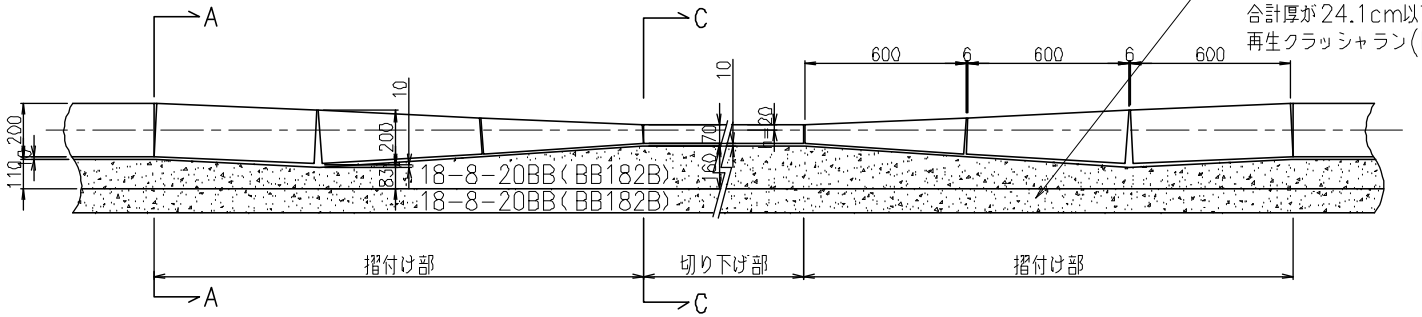
車乗入用・歩行者横断用切下げ部・摺付け部街きょ構造図（１０３５型）

（エプロン横断勾配６％）

正面図（車乗入れ部用・1段落し）　S＝1：20



正面図（歩行者横断用・3段落し）　S＝1：20



コンクリート18-8-20BB(BB182B)は
調整用として用いる（別途計算）

基礎工は車道路盤に準ずる
また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の
合計厚が24.1cm以下の場合は
再生クラッシャラン(RC-40)基礎を10cmとする

※A－A、B－B、C－C断面はP２３０３－２参照

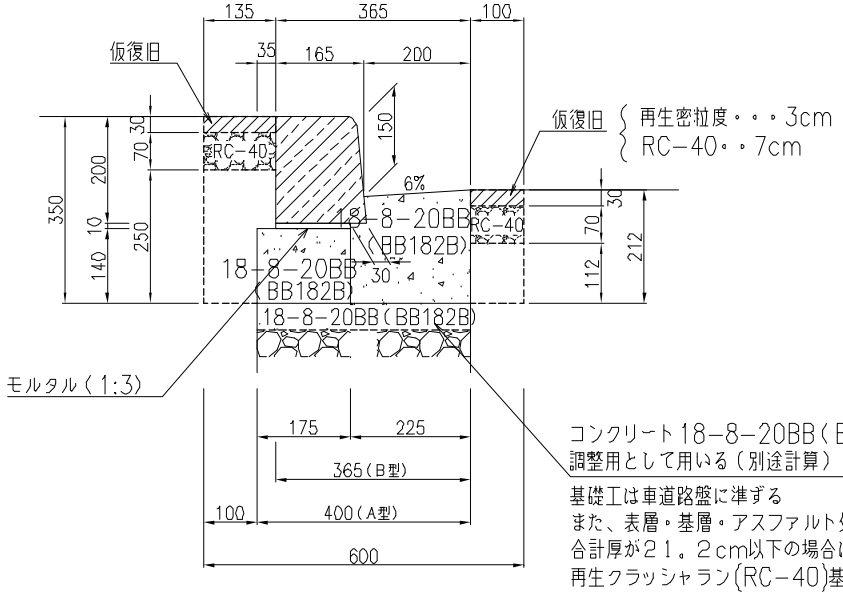
材　料　表　　(100m当り)

材　料　名	形　状　寸　法	単位	車乗入用 1段落し	歩行者横断用 3段落し
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m3	10.7	10.8
モルタル 1:3	敷・目地	m3	0.1	0.1
歩車道境界ブロックA1斜	(150/170×200) ×(160/170×100)×600	個	165.0	-
歩車道境界ブロックB1斜	(150/170×200) ×(155/170×150)×600	個	-	82.5
歩車道境界ブロックC1斜	(155/170×150) ×(160/170×100)×600	個	-	82.5

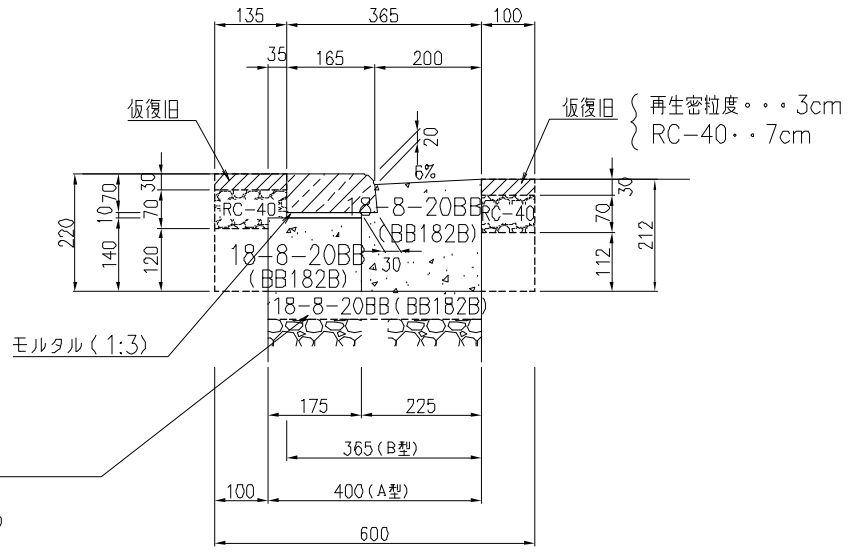
街きょ構造図（１５２型） Ｓ＝１：１０

幅200mm　A型 B型（エプロン横断勾配６％）

一 般 部 断 面 図



巻込部・歩行者横断用切下部（２ｃｍ）断面図



※仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。
※街きょます間の中央に施工目地を設ける。
　ただし、１０ｍ未満の場合は除く。
※各ブロック間には、目地モルタルを設ける。

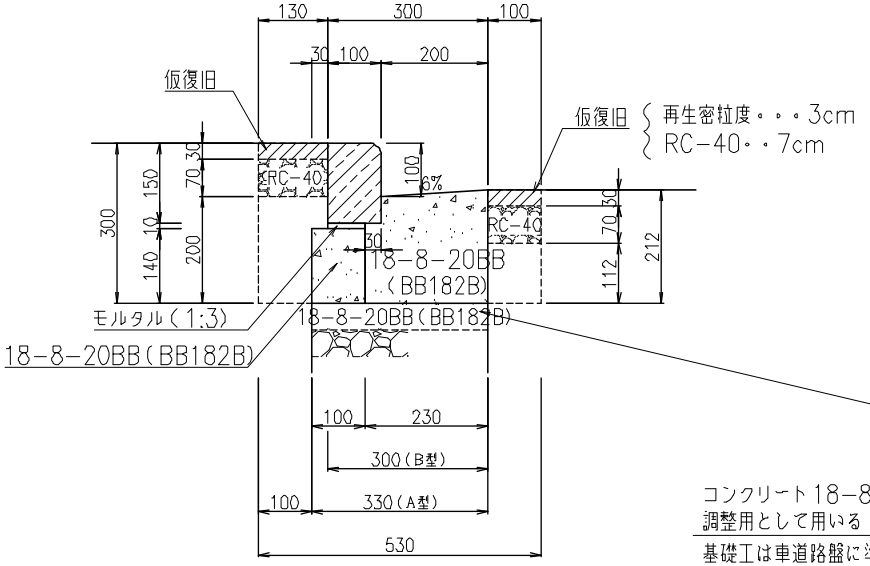
材 料 表　　(100m当り)

材　料　名	形　状　寸　法	単位	一 般 部	巻込部・歩行者横断用切下部
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m3	6.9	6.9
モルタル 1:3	敷・目地	m3	0.1	0.1
歩車道境界ブロック	150/170×200×600	個	165.0	−
歩車道境界ブロック	163/170×70×600	個	−	165.0

街きょ構造図（１０２型）　Ｓ＝１：１０

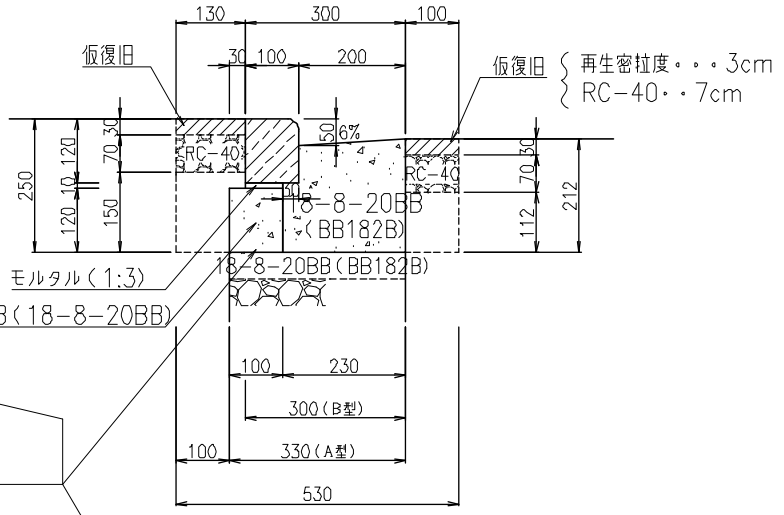
幅200mm　A型　B型（エプロン横断勾配６％）

一　般　部　断　面　図
（Ａ－Ａ　断面図）



※仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。
※街きょます間の中央に施工目地を設ける。
　ただし、１０ｍ未満の場合は除く。
※各ブロック間には、目地モルタルを設ける。

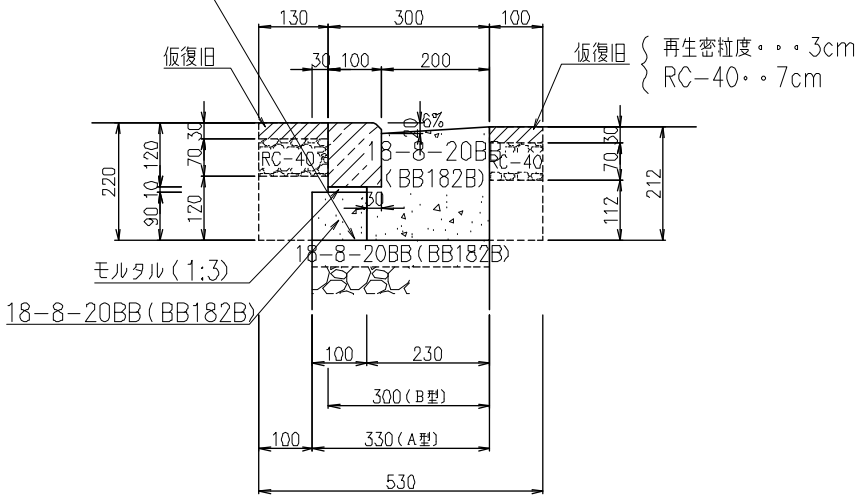
車乗入用・切下部（５ｃｍ）断面図
（Ｂ－Ｂ　断面図）



コンクリート18－8－20BB（BB182B）は
調整用として用いる（別途計算）

基礎工は車道路盤に準ずる
また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の
合計厚が21.2cm以下の場合は
再生クラッシャラン(RC－40)基礎を10cmとする

巻込部・歩行者横断用切下部（２ｃｍ）断面図
（Ｃ－Ｃ　断面図）



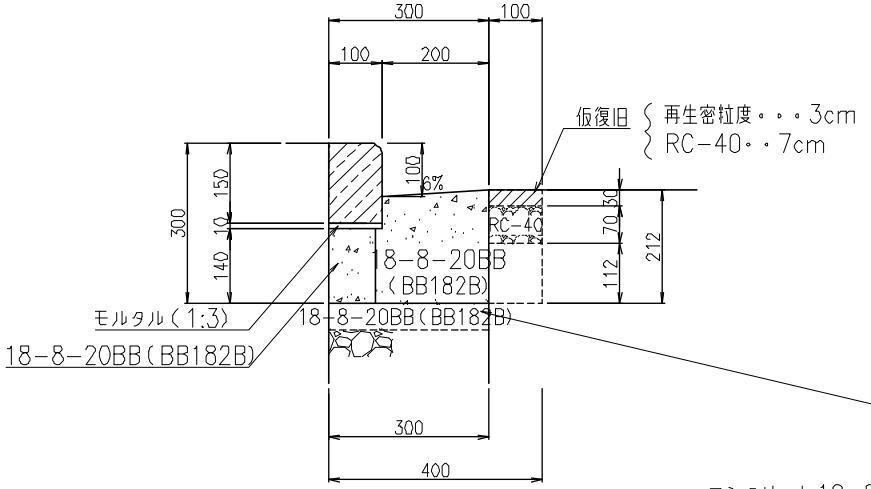
材　料　表　　(100m当り)

材　料　名	形　状　寸　法	単位	一　般　部	車乗入用切下部	巻込部・歩行者横断用切下部
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m3	6.0	5.7	5.3
モルタル 1:3	敷・目地	m3	0.1	0.1	0.1
歩車道境界ブロック	面取りブロック 100×150×600	個	165.0	－	－
歩車道境界ブロック	面取りブロック 100×120×600	個	－	165.0	165.0

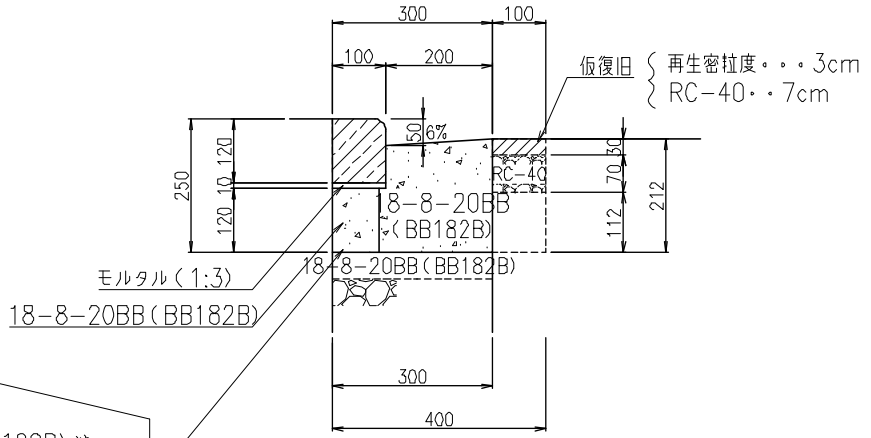
街きょ構造図（１０２型）　Ｓ＝１：１０

幅200mm　A型　B型（エプロン横断勾配６％）

一般部断面図
（Ａ－Ａ 断面図）



車乗入用・切下部（５ｃｍ）断面図
（Ｂ－Ｂ 断面図）

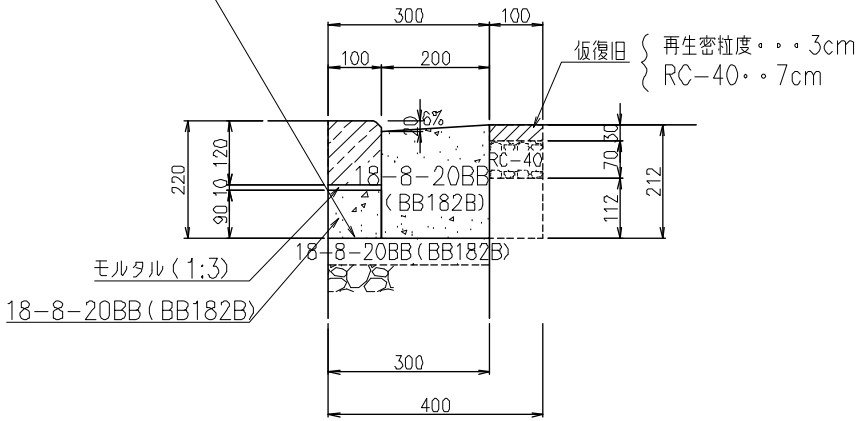


コンクリート18－8－20BB（BB182B）は
調整用として用いる（別途計算）

基礎工は車道路盤に準ずる
また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の
合計厚が21.2cm以下の場合は
再生クラッシャラン(RC－40)基礎を10cmとする

※仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。
※街きょます間の中央に施工目地を設ける。
　ただし、１０ｍ未満の場合は除く。
※各ブロック間には、目地モルタルを設ける。

巻込部・歩行者横断用切下部（２ｃｍ）断面図
（Ｃ－Ｃ 断面図）



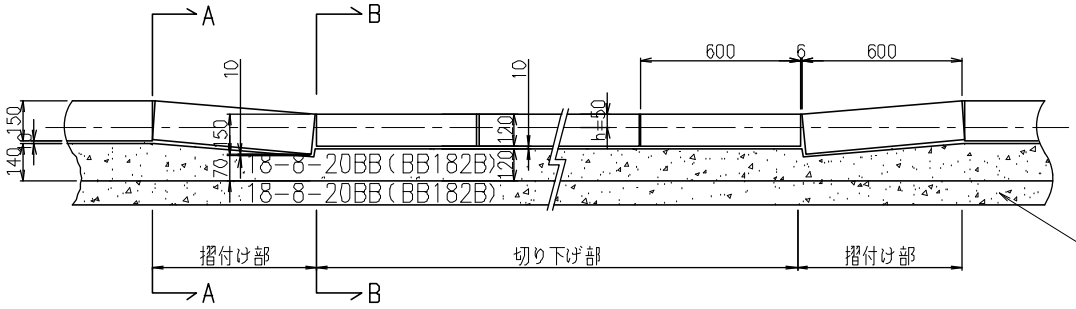
材　料　表　　(100m当り)

材　料　名	形　状　寸　法	単位	一　般　部	車乗入用切下部	巻込部・歩行者横断用切下部
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m3	5.6	5.4	5.1
モルタル 1:3	敷・目地	m3	0.1	0.1	0.1
歩車道境界ブロック	面取りブロック 100×150×600	個	165.0	－	－
歩車道境界ブロック	面取りブロック 100×120×600	個	－	165.0	165.0

車乗入用・歩行者横断用切下げ部・摺付け部街きょ構造図（１０２型）

（エプロン横断勾配６％）

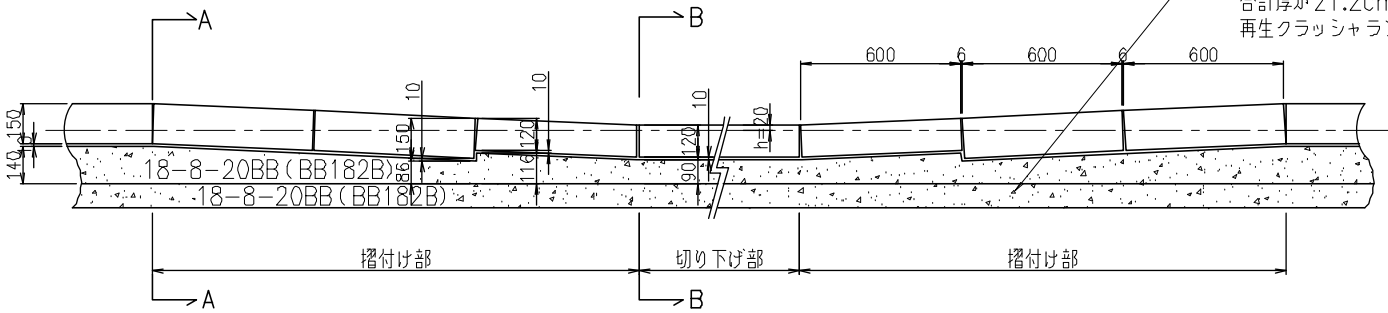
正面図（車乗入れ部用・1段落し）　S＝1：20



コンクリート18-8-20BB(BB182B)は
調整用として用いる（別途計算）

基礎工は車道路盤に準ずる
また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の
合計厚が21.2cm以下の場合は
再生クラッシャラン(RC-40)基礎を10cmとする

正面図（歩行者横断用・3段落し）　S＝1：20

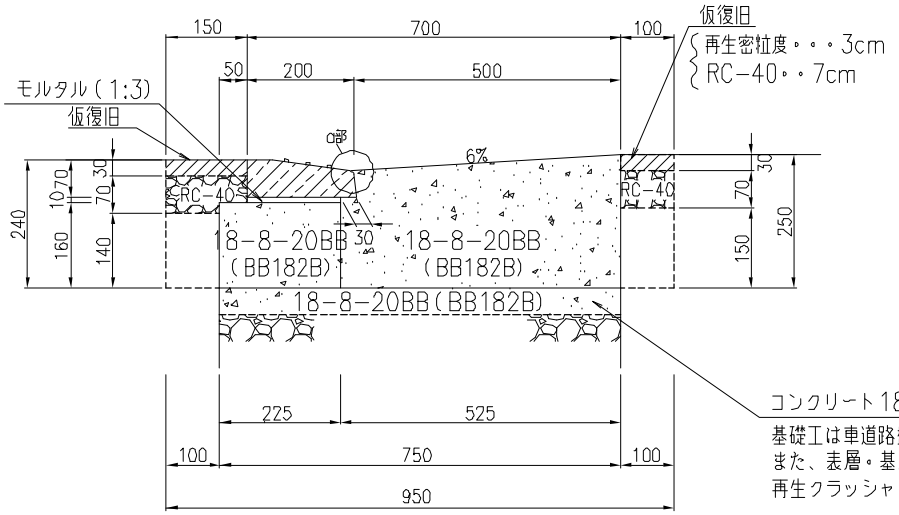


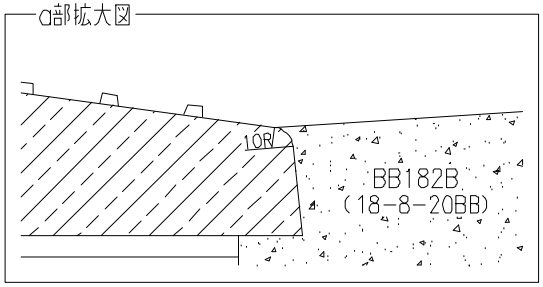
※A－A、B－B、C－C断面はP２３０６－２参照

材　料　表　　（100m当り）

材　料　名	形　状　寸　法	単位	車乗入用 1段落し	歩行者横断用 3段落し
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m3	5.9	5.7
モルタル 1:3	敷・目地	m3	0.1	0.1
歩車道境界ブロック	面取りブロック 100×150×160	個	165	82.5
歩車道境界ブロック	面取りブロック 100×120×160	個	-	82.5

セーフティブロック構造図 S＝1：10
（B－B断面図）





コンクリート18－8－20BB（BB182B）は調整用として用いる（別途計算）

基礎工は車道路盤に準ずる
また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の合計厚が25cm以下の場合は
再生クラッシャラン(RC－40)基礎を10cmとする

※仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。
※街きょます間の中央に施工目地を設ける。
　ただし、10m未満の場合は除く。
※各ブロック間には、目地モルタルを設ける。

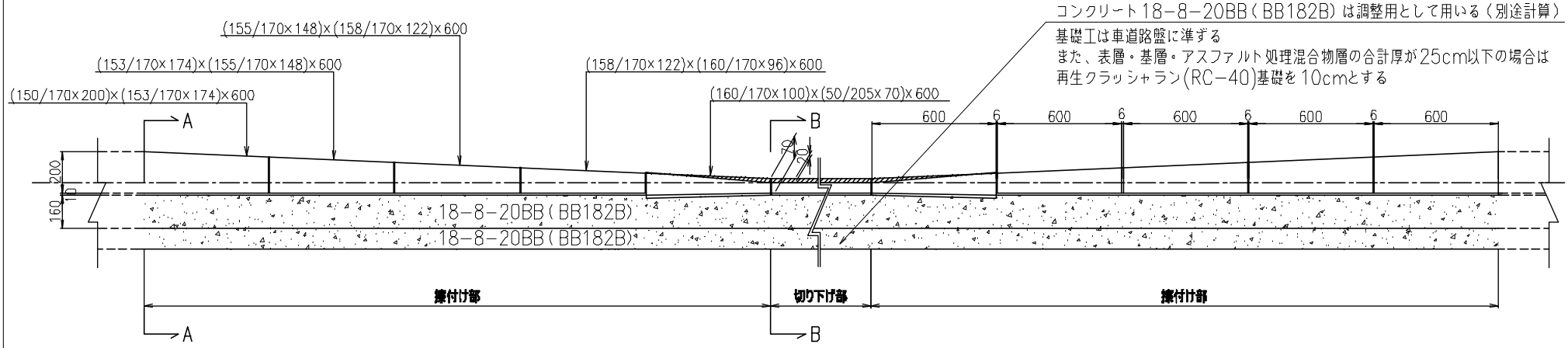
材　料　表　　(100m当り)

材　料　名	形　状　寸　法	単位	数　量
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m3	15.8
モルタル 1:3	敷・目地	m3	0.1
セーフティブロック	50/205×70×600	個	165.0

歩行者横断用切下げ部・摺付け部街きょ構造図（１５５型－セーフティブロック）

（エプロン横断勾配 6％）

正面図（歩行者横断用・5段落し） S＝1：20



※各ブロック間には、目地モルタルを施すこと。
※A－A、B－B断面はP2301－2，P2311参照

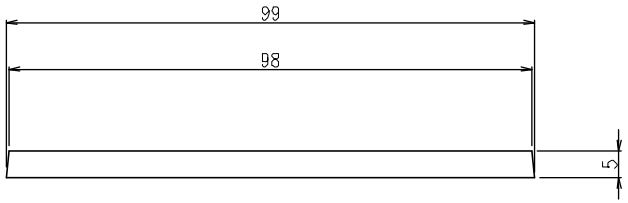
材　料　表　　**（両側100箇所当り）**

材　料　名	形　状　寸　法	数　量	単位	摘　要
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	91.0	m3	
モルタル 1:3	敷・目地	0.9	m3	
型　枠		345.4	m2	
歩車道境界ブロック	(150/170×200) ×(153/170×174)×600	200	個	
〃	(153/170×174) ×(155/170×148)×600	200	個	
〃	(155/170×148) ×(158/170×122)×600	200	個	
〃	(158/170×122) ×(160/170×96)×600	200	個	
〃	(160/170×100) ×(50/205×70)×600	200	個	

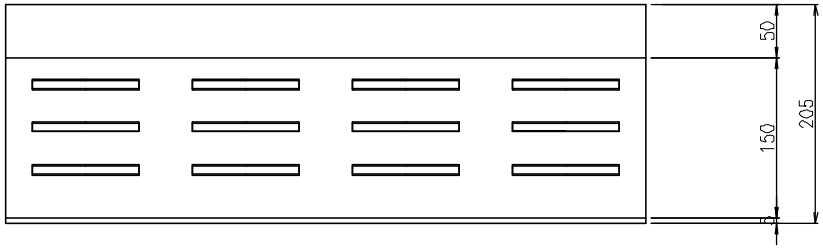
※本材料表は、擦付け部両側の数量である。

セーフティブロック詳細図

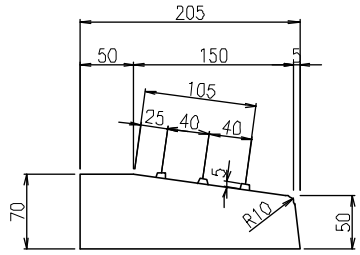
凸部詳細図　S＝1：1



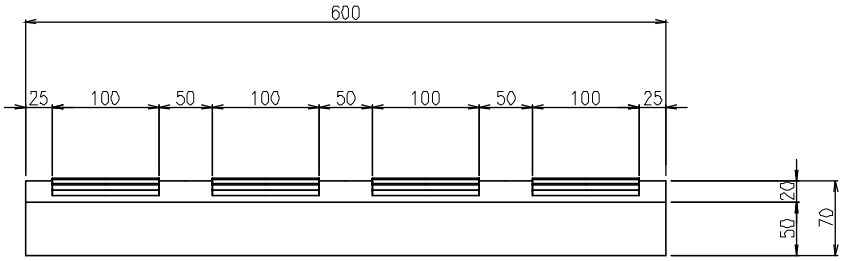
平面図　S＝1：5



断面図　S＝1：5



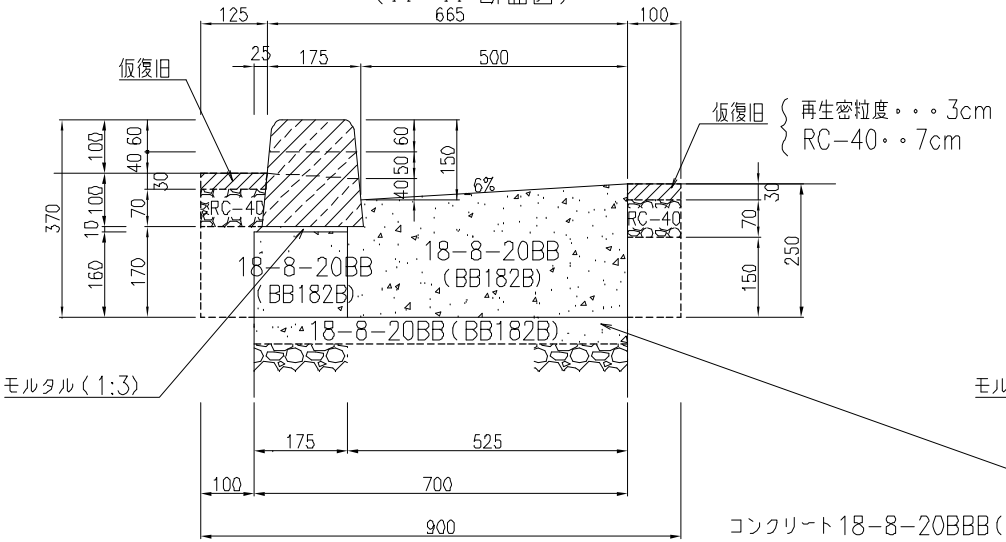
正面図　S＝1：5



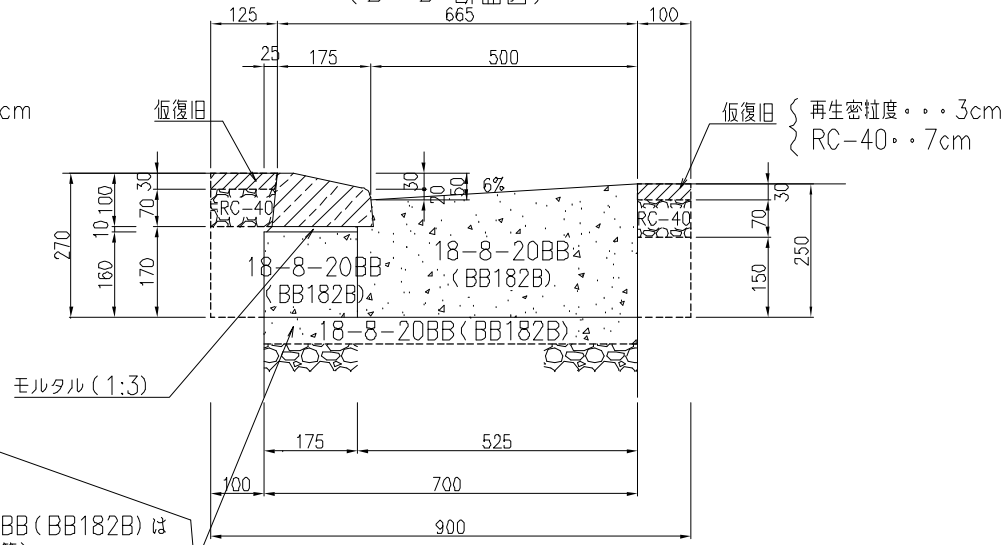
街きょ構造図（１５５ＳＦ型）　Ｓ＝１：１０

幅500mm（エプロン横断勾配６％）

一般部断面図
（Ａ－Ａ 断面図）



車乗入用切下部（５ｃｍ）断面図
（Ｂ－Ｂ 断面図）

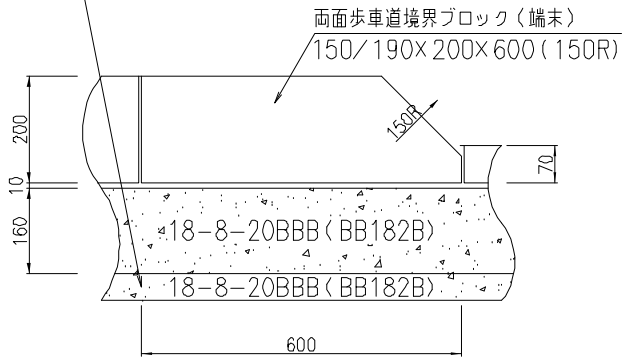


※仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。
※街きょます間の中央に施工目地を設ける。
　ただし、１０ｍ未満の場合は除く。
※各ブロック間には、目地モルタルを設ける。

コンクリート18-8-20BBB(BB182B)は
調整用として用いる（別途計算）

基礎工は車道路盤に準ずる
また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の
合計厚が25cm以下の場合は
再生クラッシャラン(RC-40)基礎を10cmとする

端末部正面図



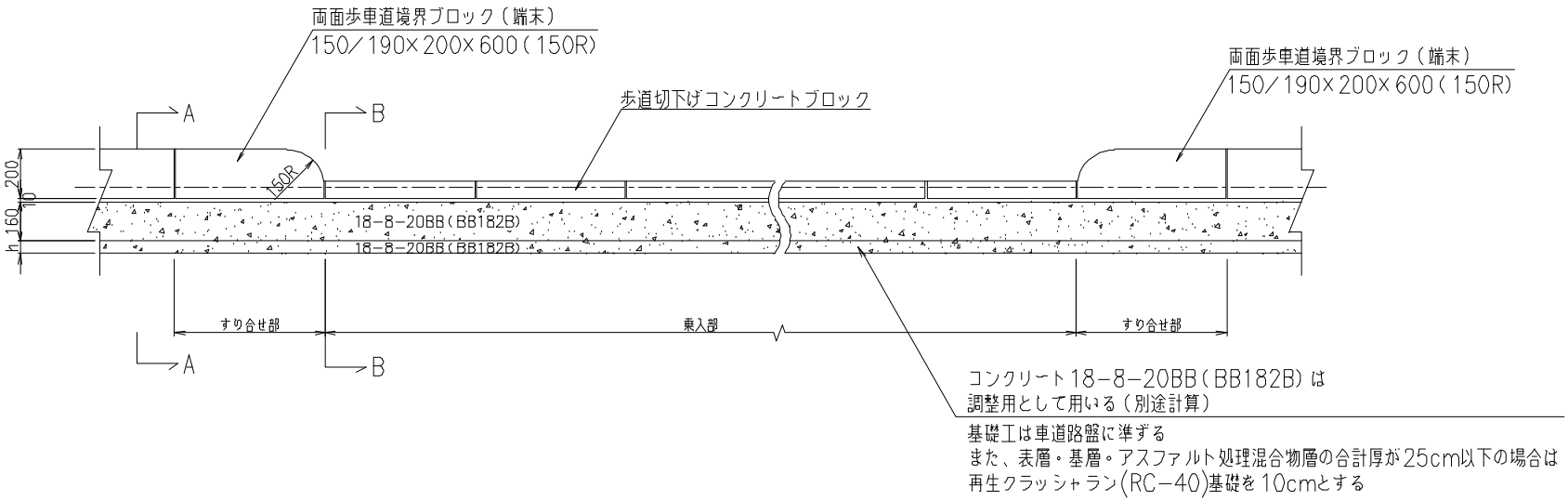
材　料　表　　（100m当り）

材　料　名	形　状　寸　法	単位	一　般　部	車乗入用切下部
コンクリート	18-8-20BBB (BB182B)	m3	15.0	15.0
モルタル 1:3	敷・目地	m3	0.2	0.2
両面歩車道境界ブロックA	150/190×200×600	個	83.0	－
両面歩車道境界ブロックA-SF	150/190×200×600 (水抜き)	個	82.0	－
歩道切下げコンクリートブロックA-SF1	173/190×100×600	個	－	165.0

車乗入用歩道切下部街きょ構造図（１５５ＳＦ型）

（エプロン横断勾配 6％）

正面図 S＝1：20



※各ブロック間には、目地モルタルを施すこと。
※Ａ－Ａ、Ｂ－Ｂ断面はＰ２３１４－１参照

材　料　表　　**（両側100箇所当り）**

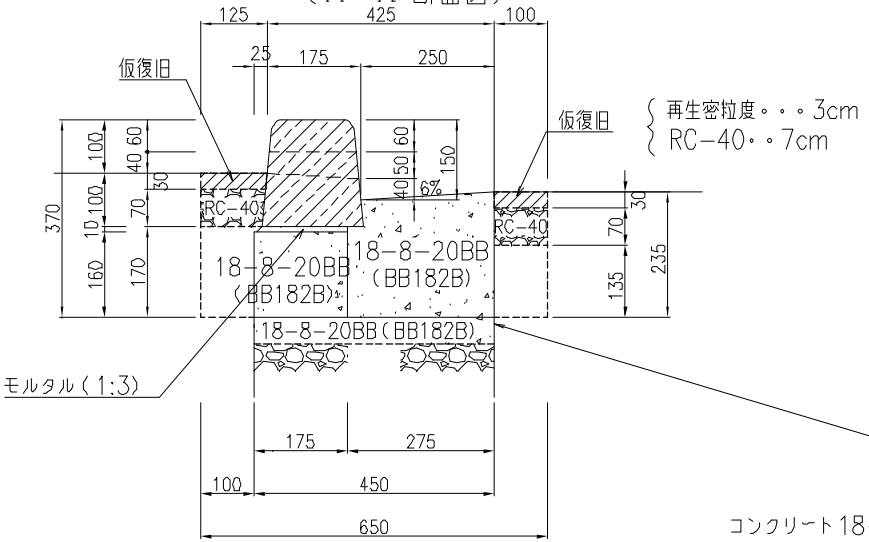
材　料　名	形　状　寸　法	数　量	単位	摘　要
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	18.0	m3	
モルタル 1:3	敷・目地	0.2	m3	
両面歩車道境界ブロック(端末)	150/190×200×600(150R)	200.0	本	

※本材料表は、すり合せ部両側の数量である。

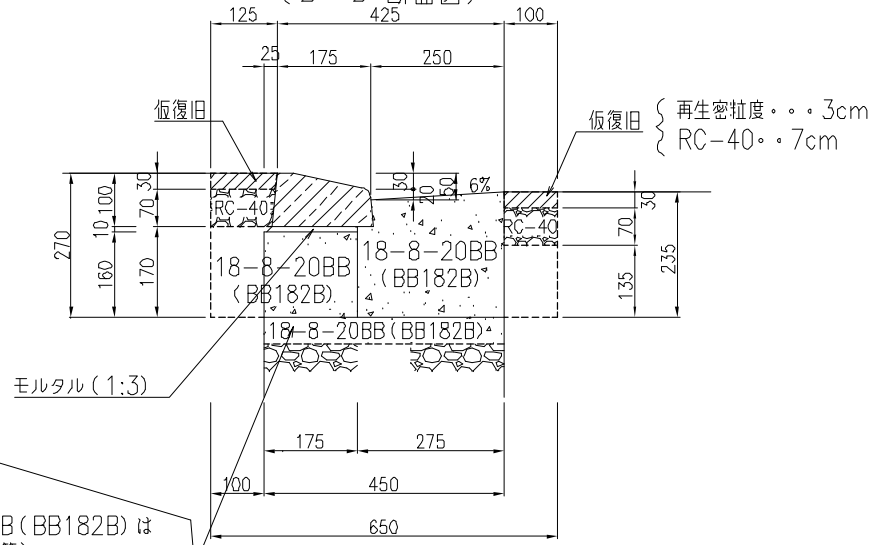
街きょ構造図（１５２５ＳＦ型）　Ｓ＝１：１０

幅250mm（エプロン横断勾配６％）

一般部断面図
（Ａ－Ａ 断面図）



車乗入用切下部（５ｃｍ）断面図
（Ｂ－Ｂ 断面図）

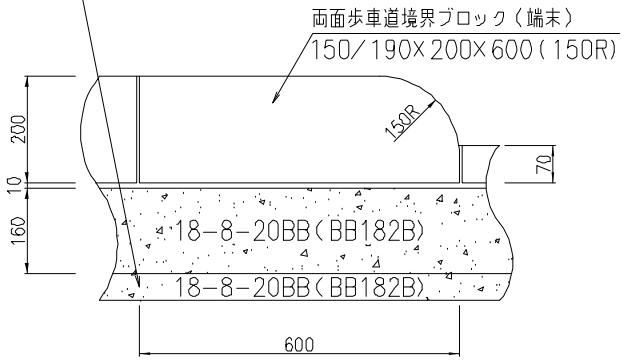


※仮復旧については参考とし、打替路線の舗装によること。
※街きょます間の中央に施工目地を設ける。
　ただし、１０ｍ未満の場合は除く。
※各ブロック間には、目地モルタルを設ける。

コンクリート18-8-20BB（BB182B）は
調整用として用いる（別途計算）

基礎工は車道路盤に準ずる
また、表層・基層・アスファルト処理混合物層の
合計厚が25cm以下の場合は
再生クラッシャラン(RC-40)基礎を10cmとする

端末部正面図



材　料　表　　（100m当り）

材　料　名	形　状　寸　法	単位	一　般　部	車乗入用切下部
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m3	11.2	11.2
モルタル 1:3	敷・目地	m3	0.2	0.2
両面歩車道境界ブロックA	150/190×200×600	個	83.0	－
両面歩車道境界ブロックA-SF	150/190×200×600（水抜き）	個	82.0	－
歩道切下げコンクリートブロックA-SF1	163/170×70×600	個	－	165.0